

平成14年6月25日発行

インターネット電子申請

電子申請推進コンソーシアム 編集

判 型：A5判

頁 数：360頁 1色刷

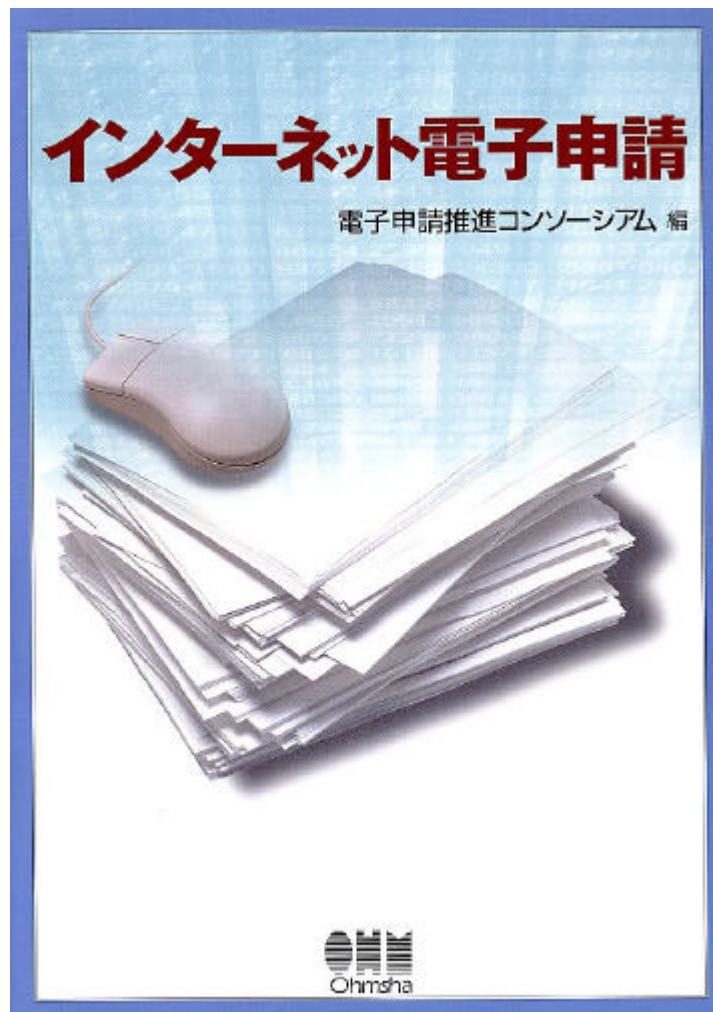
本体価格：2,800円(税抜)

4-274-06470-0 C3055 E2-02

ご注文はこちらまでお願いします。

株式会社オーム社 〒101 - 8460

東京都千代田区神田錦町3-1 03-3233-0641



本格的に動き始めた電子申請への提言！
サービスモデルについて実例を紹介！
電子申請実現の近道を事例・技術から紹介する1冊

本書の内容

現在、国をはじめ、官公庁はIT革命の大きな渦の中にある。インターネットを利用した情報公開、ワンストップサービス、電子調達、電子入札、そして電子投票。政府は2005年までに電子政府を実現させるべく積極的に取り組んでいる。

電子申請は、e-Japan構想・電子政府の柱であり、従来の紙ベースの申請手続を電子データとして置き換えることだけでなく、XMLとの連携により電子署名を添付し、複数の官公庁をまたぐ申請手続も可能とする目的がある。

本書では、電子申請の実現のために必要なインフラ、アプリケーションや法制度などの環境整備は何か、メカニズムを紹介し、電子申請が市民生活や企業活動に与えるインパクトを整理している。また、すでに一部の官公庁にて試験的に導入されているモデルケースも例示し、電子申請を実際に業務として行っていくこととなる有資格者へ役立つ情報も掲載している。

読者対象

- ・ 行政書士、司法書士等の申請手続等のビジネスをしている事業者、有資格者
- ・ 官公庁と取引している企業
- ・ 地方自治体の関係者で主に情報担当、企画担当
- ・ 電子申請でビジネスを検討している企業の方々

目次

はじめに	4-4認証局の設置される施設や設備に関する要件
序章 電子申請による大きな変革	4-5認証局のシステムや暗号技術に関する要件
第1部 e-Japanと電子申請	4-6運用に関する要件
第1章 電子政府構想とe-Japan	4-7認証業務規定・事務取扱要領
1-1 電子政府構想とは？	第5章 セキュリティ技術
1-2 電子政府に関する言葉の整理	5-1 不正コピー防止技術
1-3 電子政府の当面の課題	5-2 原本性確保への対応策
第2章 電子申請とその課題	第6章 電子申請多様化における対応策
2-1 電子申請がもたらす影響力	6-1 XMLの基礎知識
2-2 電子申請の取組みの現状	6-2 電子申請におけるタグの標準化
2-3 電子申請の課題	第3部 業界業種別電子申請サービスモデル
2-4 電子署名法の運用と問題点	第7章 サービスモデル構築のポイント
第2部 電子申請実現のキーテクノロジー	7-1 電子申請サービスモデルとは？
第3章 GPKI基盤	7-2 電子申請と行政機関内プロセスとの融合
3-1 政府認証基盤(GPKI)と電子申請	7-3 電子フォームポータルサービス
3-2 暗号化技術	7-4 オンライン申請モデル
3-3 改ざん防止技術	7-5 ユーザーインタフェース (UI) の重要性
3-4 認証制度と認証技術	第8章 電子申請サービスモデル
第4章 特定認証局の認定制度	8-1 岐阜県の実証実験
4-1 特定認証局と電子署名法	8-2 行政書士申請ASPの紹介
4-2認定取得までの流れ	8-3 司法書士申請サービスモデル
4-3特定認証業務認定の要件	付録 電子申請コンソーシアムの活動